

旧植田家だより

KYU-UEDAKE INFORMATION

Vol. 12

2012年4月発行

開館3周年

桃栗三年 柿八年

連続講座

伝統民家無名塾

こどものためのお茶会

好評！連載コラム

『落穂拾い - 今東光の薫風 -』



<http://kyu-uedakejutaku.jp/>

展示のご案内



通常展「大和川付け替え関連展示」

2012年4月1日～7月1日 ※休館日はP15をご覧ください



土蔵 1 展示、 リニューアル！



2012年4月1日(日)より、安中新田会所跡 旧植田家住宅・土蔵1(民具展示室)の展示品が入れ替わりました。昔なつかしの道具からちょっと珍しいものまで、旧植田家にのこされた数々の生活器具(民具)類が展示されています。

さらに、これまで未公開だった土蔵1の2階部分が今年度からご覧いただけるようになりました。旧植田家住宅の往時の暮らしをお楽しみください。

Contents

- 4 開館 3 周年を迎えて…
桃栗三年 柿八年
～ももくりさんねん かきはちねん～
- 6 新春企画
こどものためのお茶会
- 7 2012 年度・前期
施設周辺写生作品、募集
- 8 連続講座
「伝統民家無名塾」
(講師：平谷宗隆氏)
- 10 研究の一と：ファイル2「行李」
- 11 出前授業の話 3
- 12 なにわの伝統野菜栽培日記⑫
- 13 植松のまち・ひと 一第 6 回
- 14 コラム「落穂拾い - 今東光の薫風 - (六)」
- 15 旧植田家住宅のご案内



今号より表紙をリニューアルしました

表紙写真

「旧植田家住宅・座敷 1 の風景」

旧植田家住宅・座敷 1 は、明治期に増築された部屋で、普段は主人や客人以外は入れなかったと言われています。本格的な床の間、鶴の描かれた襖絵、茶道具づくりの欄間など、客人に対する“もてなしの精神（こころ）”が感じられる空間です。



※『旧植田家だより』のバックナンバーは、ホームページからダウンロードができます。
<http://kyu-uedakejutaku.jp>

ももくりさんねん かきはちねん

旧植田家住宅は八尾市の文化財施設^{※1}として2009年5月より一般公開され、NPO法人HICALI(ひかり)の施設管理業務がスタートしました。開館以来3年間、江戸時代の景観を残す建物の落ち着いた雰囲気と相まって、展示・講演会やイベント、学校連携等で多くの方々にご利用いただいています。

ここであらためてスタッフ一同、心よりお礼を申し上げます。

HICALI^{※2}は、学芸員、建築士、音楽家、デザイナー、市民活動家達で構成されています。

私たちは、ひきつづきそれぞれの専門知識やノウハウ・ネットワークを活かして、郷土の歴史、文化の普及啓発と市民文化の向上に努力してまいります。

今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

2012年4月

安中新田会所跡 旧植田家住宅指定管理者

NPO法人HICALI 理事長 木村正二

※1 八尾市の文化財施設
(2012.4.01 現在)

八尾市立歴史民俗資料館
八尾市立埋蔵文化財調査センター
八尾市立しおんじやま古墳学習館
環山楼

※2 History(歴史)
Investigation(調査)
Culture(文化)
Art(芸術)
Library(資料)
Institution(団体)

エコミュージアム

安中新田会所跡
旧植田家住宅

<郷土への愛着>

地域の歴史・文化の再発見、継承
歴史・文化を大切にする

<市民文化の向上>

市民協働／ネットワーク
アイデンティティの確立

<交流・連携、まちづくり>

「親しみ・豊かさ・ゆとり」
ひと、もの、情報が活動し
地域が活性する



5月 開館記念特別展「植田家を語るものたち」
 6月 八尾の音楽家「エド・バッハ～江戸とバッハの時代」
 7月 大和川付替えと新田開発
 9月 住まいが育てた日本の心
 9月 新田開発と人々「くらしの中の祈り」
 9月 河内木綿まつり

9月 八尾再発見「文学に見る八尾」
 10月 江戸・明治の食器で愉しむ食事会
 10月 文学に見る八尾「今東光がやってきた」

・ 出前授業がはじまる

11月 河内木綿体験と講座
 11月 新田開発と人々「植田一郎コレクション」
 12月 新田会所とオーナー「地元に文化遺産のある魅力」
 12月 ちょっと昔のくらし体験「おもちつき大会」

3月 装 - よそおう -

3月 おひなさんの歴史

・ なにわの伝統野菜づくり

・ JR 八尾駅前 花壇での河内木綿栽培

4月 開館一周年記念特別展「植田家を語るものたち II」

4月 甚兵衛と大和川「付替えがもたらしたもの」

5月 ふれあい昔あそび「チャンバラ教室」

6月 うえまっぷを歩く「親子で歩くうえマップ」

6月 名所図会に見る八尾

7月 植田家に残る戦争資料展

8月 旧家で愉しむ食事会

9月 河内木綿の歴史「初級編」

10月 植田家と大坂画壇

10月 近世大坂画人と河内

10月 八尾の音楽家「エド・バッハII」

11月 文学に見る八尾「今東光とその時代」

11月 八尾再発見・映画で楽しむ八尾

12月 ちょっと昔のくらし体験「おもちつき大会」

1月 お茶会

2月 家相図・屋敷図に見る旧植田家住宅の歴史

2月 文学座俳優が読む朗読の会

3月 伝統民家のあれこれ

4月 金属のうつわ「錫器～その歴史と技法～」

4月 体験農園

6月 まちなみ再発見「周辺史跡を歩く」

7月 昭和のくらし

7月 渋川神社の樹木調べ

7月 わらを使って“なわ”をつくってみよう！

8月 旧家で愉しむ食事会

9月 こども河内木綿体験と講座

9月「鴻池新田の災害略史－風水害、地震、人災」

10月 植田家と大坂画壇 II

10月 植田家に眠る大阪画壇

10月 八尾の音楽家「エド・バッハIII～江戸とバッハの時代をこえて～」

10月 ふれあい昔あそびチャンバラ教室

11月 発見！むかしのくらし「旧植田家住宅での昔のくらし体験」

11月 文学に見る八尾「今東光の昭和 32 年」

12月 伝統民家無名塾

12月 すこし昔のくらし体験「もちつき大会」

1月 こどものためのお茶会

2月 植田家の漆器





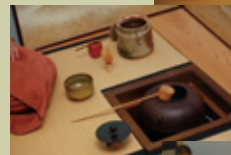
新春企画

こどものための

お茶会

2012年1月21日(土)

福田祐美子(参加者)



ちゃんと
いただけるかな？

お茶碗の正面をずらして、ゴクリ。いつものやんちゃ姫はどこへやら、それなりにできているではないですか！

女の子が生まれたら、二人でおしゃれして、一緒にお茶会に参加する。これが、長年の私の夢でした。しかし我が娘はまだ四歳。ふざけたり、踊ったり、かけっこで一番になるのが大好きなやんちゃ盛り。そして毎日怒りっぱなしの私……。さて、いつになったら夢がかなうのやら、と思っていた矢先、旧植田家住宅で「こどものためのお茶会」があると知り、「これだ！」と思い、参加させていただきました。

お茶会、といっても娘にはよくわからないので「お上品にお菓子を食べて、お茶を飲む会よ」と説明すると、お菓子を食べる、というところだけを理解していたようで、お茶会へ向かう道中「お菓子

まだ？」「お腹すいた〜」を連呼し、説明のしかたを失敗したかな…と少々後悔しましたが、到着して座敷へ通していただいた途端、急に表情がきりりとし、「お上品なお姉ちゃん」に変身。もともと、どこへ行っても物怖じしない娘は、初めて会うお兄ちゃんやお姉ちゃん達の間にちょこんと座り、先生のお手前をのぞき込むように見ていました。そして待望のお菓子。子ども達にも食べやすいお菓子を用意してくださっていたので、娘も彼女なりの上品さでパクリ。いよいよ、お手前をいただく番。ちゃんといただけるかな？とドキドキしながら見ていると、先生のされる様子をそのまま真似て、隣へ一礼。持って来た方へ一礼。

お茶の後、隣の座敷で、お箸で大豆をつまみ、どのくらいで隣のお皿へ全部移すことができるかタイムを測るゲームをしました。お箸を使うのが好きな娘は、早速ゲームを始めましたが、思っていたより難しく、豆がつるつるすべってなかなか進みません。これはいつ終わるかわからないぞ、と思ったので「もう帰る？」と娘に聞いたのですが、娘はもう夢中。そのうち、スタッフの方も「頑張れ！」「時間は気にしないでいいからね」と応援してくださり、うんと時間はかかりましたが、何とか全部、隣のお皿に移すことができました。



さて、少しばかりお姉ちゃんな様子を見せてくれた娘ですが、家に帰るとすぐにやんちゃ姫に逆戻り。いつになったら、本当の「お上品なお姉ちゃん」になってくれるのでしょうか…。

2012年(前期)

施設周辺写生作品展示



植松の風景、 描いてみませんか？

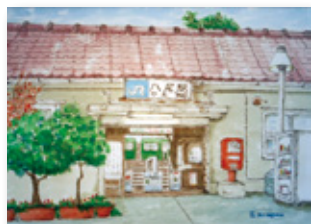
2012年度・前期 施設周辺写生作品、募集！

新年度に入り、「施設周辺写生作品展示」(ギャラリー展示)は今回で六回目を迎えます。これまで応募していただいた作品は、全て合わせると八十八点にも上ります。参加者のほとんどは、旧植田家住宅に遊びに来ている小学生の子どもたちですが、一般からのご応募もたくさんいただきました。それもかなり高いレベルのものばかり。毎回スタッフたちを驚かせています。

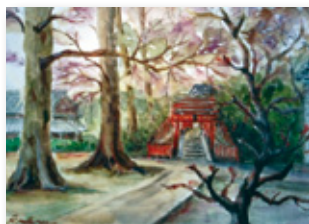
二〇一二年度・前期のギャラリー展示は、七月二十三日(月)～九月二日(日)となっています。夏休み期間中ですので、多少(かなり?)暑いですが、冷房の効いたギャラリーでご鑑賞いただけます。また、作品をご応募してくださった皆様には、特典として、展示期間中、旧植田家住宅の入館料が無料になる観覧券の発行も予定しています(中学生以下には参加賞もあり)。

テーマは「旧植田家住宅またはその周辺の風景」。応募用紙は、旧植田家住宅施設窓口またはホームページからダウンロードできますので、どしどしご応募ください。皆様の力作をお待ちしております。

2011年度・後期の応募作品



JR八尾駅旧駅舎



渋川神社の風景

応募期間 2012年4月1日(日)～7月20日(金)

作品展示 2012年7月23日(月)～9月2日(日)

※応募して頂いた作品は、上記期間中、旧植田家住宅内ギャラリーにて展示します。

ホームページ：<http://kyu-uedakejutaku.jp>

安中新田会館 旧植田家住宅
施設周辺写生作品展示2012
植松の風景、
描いてみませんか？
さくひん びょうしや
作品募集
旧植田家住宅や周辺のまちなみをスケッチ。
えんぴつ・鉛筆・クレヨン・水彩画、何でも自由です。
応募期間 2012年4月1日(日)～7月20日(金)
作品展示 2012年7月23日(月)～9月2日(日)
※ご応募いただいた作品は上記の期間中、
旧植田家住宅・ギャラリーにて展示します。
◎詳細は裏面をご覧ください
八尾市歴史文化館
安中新田会館 旧植田家住宅
TEL: 055-254-1111 FAX: 055-254-1112
<http://kyu-uedakejutaku.jp>

詳細はお問い合わせいただくか、
ホームページをご覧ください。

でんとうみんか

伝統民家

む めい じゅく

無名塾



講師の平谷宗隆さん



昨年十二月から今年二月にかけて、連続講座「伝統民家無名塾」（全三回）が開講されました。この講座では、以前にも伝統民家のお話をしてくださった一級建築士の平谷宗隆さんを講師にお招きし、伝統工法と現代工法の違いや旧植田家住宅の変遷などについて、様々な話を聞くことができました。



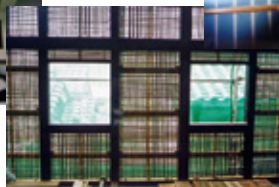
家相図



虫籠窓



ほぞ穴



伝統民家の再生

【第一回】

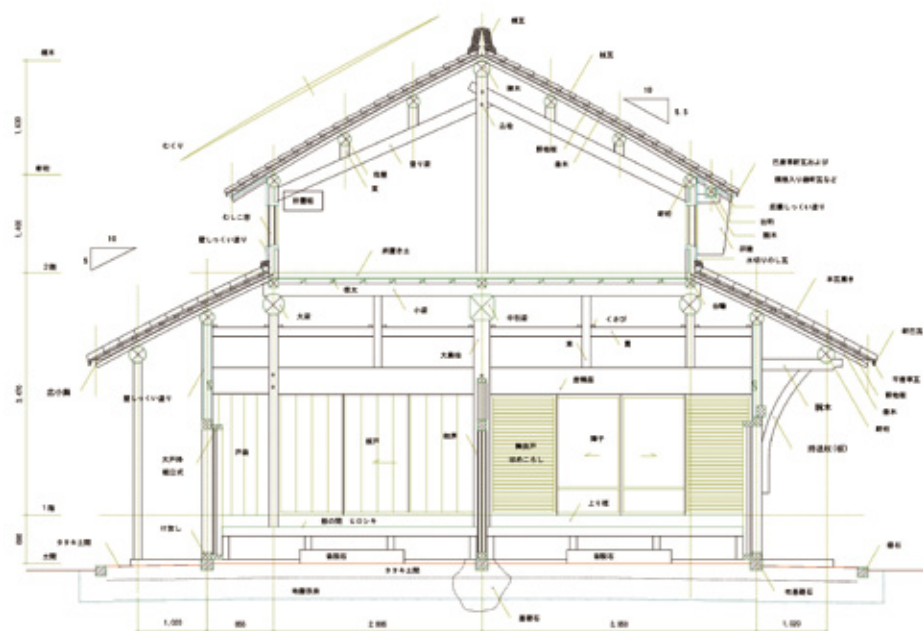
旧植田家の概要と地震・耐震

連続講座の第一回目は、旧植田家住宅の建物の変遷について。概略が話された後、まさに「基礎」的なお話として、地盤の話と基礎の話から始まりました。

現在はコンクリートのベタ基礎（全面を板状の鉄筋コンクリートにした基礎）が増えてきているらしいですが、昔の基礎は地盤がしっかりしていれば石を置くだけだったそうです。

次に、建物の耐震の話になりました。現代工法の建物は、最初から「揺れない」ように造られています。一見よさそうに思うのですが、建物が揺れない分、地震のエネルギーを全て受けてしまいます。

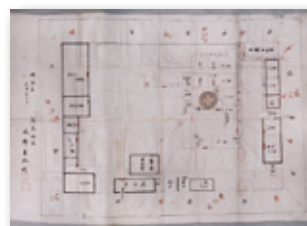
では、伝統工法がどうなのかというと、こちらは最初から「揺れる」ように造られているそうです。法隆寺の五重塔は地震の時には「く」の字型に曲がって揺れたという話を聞いたことがあります。これが現在の高層ビルの構造につながっているといえますから、伝統工法の一部は形を変えて現代に伝わっているのですね。



伝統民家のモデル図（平谷宗隆氏作成）



天星尺（てんせいしゃく）



明治5年の家相図

【第二回】

伝統民家・間取りと沿革

今回は、間取りの話が中心でした。河内・奈良盆地の伝統民家は整形四間取り（いわゆる田の字型の間取り）が基本だそうです。旧植田家住宅の場合、ここから変化して、六間取りになっているのではないかというのが平谷さんのご意見でした。

家相図（※）は、建物の変遷を考えるとときにはとても参考になる資料です。旧植田家住宅には江戸時代のものと思われるものから昭和の終わりのころのものまで、数枚の家相図が残されています。主屋の基本的な構造は大きく変わっていませんが、いつ頃の時期にどの建物が造られたのか等がよくわかります。

また今回、天星尺（てんせいしゃく）という言葉をこの講座で初めて聞きました。門（出入り口）の大きさを測って、吉の範囲に入るように部材の長さ等を決めるための道具で、今ではほとんど使われることはないそうです。

※家相図…風水などに基づいて部屋の間取りや配置を記した文書図。

【第三回】

消えた伝統の魅力・再生

第三回目は、基本的な構造のお話から始まりました。モデル図をもとに、それぞれの部材の名称なども解説され、とてもよくわかりました。

古民家再生の話では、平谷さんが手がけた土蔵の再生の話が詳しく話されました。土蔵には土壁が使われますが、古い土壁もわらを入れて練りなおし、寝かせておくことで再利用できます。また、土壁は湿度調整もしてくれ、耐火性も高いなど、環境にも人にも家にも優しい建材なのですが、時間とお金がかかるため、現在は使われなくなっているとのことでした。時代の流れとはいえ、残念なことです。

最後に、伝統民家の魅力について、かつての植田家の建物を例に具体的なお話をしてくださる、講座は終了となりました。

伝統民家の話はとても奥が深く、三回の講座ではほんのさわりしかお聞きすることができなかったような気がします。機会があれば再度、「伝統民家無名塾」を開講したいと思います。



土蔵1 (民具展示室) 1階の様子。
入口を入ってすぐの場所に展示されている。

研究 のーと

Investigation
Note

ファイル2 こより 「行李」

関西大学大学院文学研究科
谷口 弘美

旧植田家住宅には多くの「行李」がのこされており、現在、土蔵1 (民具展示室) にも展示されている。行李とは、葛籠の一種で、衣類や身の回りの品々を入れておいたり運搬するのに用いた道具である。

一般的に行李は「竹行李」と「柳行李」の二種に分けられるが、ひと目でその違いがわかる。それぞれの写真を参照していただきたい。竹行李はスズタケやハコネメダケの割竹を網代(薄く削った竹を斜めに組み合わせたもの)に編んでいるのが特徴で、長野県松本周辺や岩手県一戸周辺、古くは静岡県御殿場周辺も主な産地であった。一方、柳行李はコリヤナギの枝の皮を剥いだものを縫い、割竹を当てて形作られている。角や縁に布や革が縫い付けられているのが特徴である。兵庫県豊岡市が最大の産地として知られたが、現在では柳行李を作る職人も少なくなっている。

少し前まで日常的に使われていた行李も今ではほとんど見かけなくなった。便利なモノが溢れる現代だが、ちよつとむかしの道具に目を向け、昔のくらしについて考えることもよいのではないだろうか。



《柳行李》

コリヤナギの枝の皮を剥いだものを縫い、割竹を当てて形作られている。角や縁が傷まないように布や革が縫い付けられる。

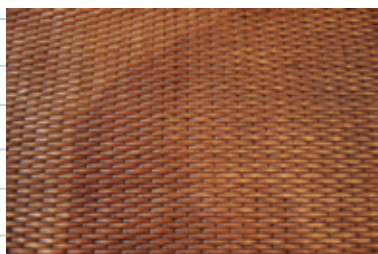


《竹行李》

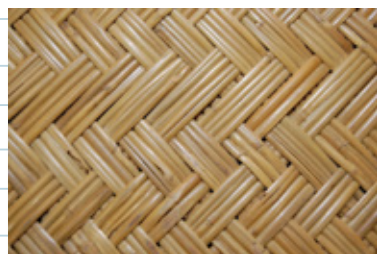
スズタケ、ハコネメダケの割竹を網代に編んでいるのが特徴。



拡大



拡大



3 でまえじゅぎょう 出前授業



「校区の昔」と「大和川の付け替え」の授業を担当する2名のスタッフ

郷土をもっと知った出前授業

「郷土を開く―大和川のつけかえ」

四年生の出前授業に来ていただいた。

出前授業では、大阪平野の成り立ちや長瀬川と玉串川の今と昔・校区の移り変わりの写真クイズでまず盛り上がった。子供達の感想は、「知らなかった校区の昔を知り、うれしかった。」「クイズが楽しかった。」「昔の様子とまだ同じところがあつてびっくりした。」「渋川神社のクスノキが天然記念物だなんて自慢だ。」「校区は神社が多くて長い歴史のある場所だったんだ。」「長瀬川は昔の大和川で川幅が広がったんだ。」と、校区を再発見し、誇らしく感じた時間で

あつた。

大和川は、校区から近い南にある川である。子供達は、大和川に釣りに行ったことやバーベキューをしに行ったことがあるなどと身近に感じている子もいれば、全く関心のない子もいる。さらに校区の隣を流れている長瀬川に対しても、さほど関心を持っていなかった。

そんな大和川に対する思いであつたが、長瀬川がもとの大和川であつたことや、洪水に苦しめられてきた先人の思いを出前授業で知り、郷土の川であるという認識が深まった。そして、大和川付け替えのスーパースター中甚兵衛さんをもっと有名にしたいと言う声があがつた。

一方、大和川の付け替えルートで、この永畑小も川底になつていたかも知らなかったことに對して、「よかつた」という素直な声があつた。付け替えて新田が開発され、綿作りにより生活が豊かになった人かもしれない。今までの暮らしを変えなければならなかつた人もいたことや、かえつて水不足になる地域があつたことなど、両面から考える必要があることにも気づかされた出前授業であつた。

付け加えて、私達が住んでいる河内平野の地面の高さは今も変わらないので、水がたまりやすい地形である。昭和四十七年の大東水害で私の知人の家も床上浸水し、後に家をジャッキアップした事を知っている。大和川の付け替えによつて洪水がなくなつたかと言えば、そうではないことが明らかである。

子供達も、中甚兵衛や志を同じく力を尽くした人々のように暮らしやすい郷土を開き、これからも郷土を愛していつてほしいと願っている。折しも三月行事に六年生との給食交流会があつた。そこで、子供達は出し物として、「大和川の付け替えの劇がいい」と即答。朗読劇に見てもらつた。

また、校区にある旧植田家住宅に、子供達はよく遊びに行かせていただいている。子供達が自分の住んでいる所が好きで住みよい所にしたいという気持ちは、今も昔も変わらないと思う。身近な郷土をもっと深く知り、そして人とのつながり、過去未来とのつながり、社会とのつながりを意識し、より発展させてくれることを念じている。

永畑小学校 四年生担任

なにないの伝統野菜 栽培日記

No.12

金時人参、収穫



寒さもピークの二月中頃、金時人参を収穫した。今回は伝統野菜であるこの人参とオーソドックスな洋人参の二種類を植えていた。人参は土の中にしっかりと埋まっているので、思ったよりも掘り出しにくく、子どもたちはモグラ状態で土をかきわけ、なかなかうまく掘り出せずに、途中で「バキッ！」と折ってしまう子が続出。それでも根気よく掘り進み、やっと姿を現した人参は、とても立派なものから噴き出してしまうような妙な形のものまで様ざまだった。



妙な形をした人参

美味しいのだろう。よく考えると、どこよりも新鮮な「産地直送」なのである。少し前から畑の企画に参加して下さっている子ども

いつものように井戸水で土をきれいに洗い流し、お決まりの試食会。前回の失敗にめげず、今回もまた少々頑張つて、人参と人参葉を練り込んだパウンドケーキを作つてみた。(今回は、かなりイケました！)



井戸水で野菜を洗う

の親御さんからは、「嫌いな野菜でも、ここに来てお友達と一緒にだと、食べるんですよ。家でも少しずつですが、頑張つて食べるようになりました。やっぱり自分で世話をすると、美味しく思えるんですね。」と、おっしゃって頂いた。何よりもうれしいお言葉。：そういえば、私自身も人参嫌いだったような？確か。

「イチゴの花が咲いたよ！」

近隣の永畑幼稚園の園児たちとの収穫用に庭の片隅のプランターに植えているイチゴが、ようやく花をつけた。冬の寒い間、まったく成長せず、大丈夫かな？と心配していたが、3月の後半になると、ようやく大きくなり始めた。今では、たくさん白やピンク色の花が咲き、小さな実らしきものも目に付く。

今回植えているイチゴは、



かなり多品種。まだ珍しい、桃の味がするという薄いピンク色の「桃薫」をはじめ、四季成りの「トライアスロン」などがあり、園児たちよりもスタッフのほうがイチゴを楽しみにしている。

植松のまち・ひと

第六回

「JR八尾駅南口・駅前通路」

八尾の玄関口であり、旧植田家住宅の最寄り駅でもある「JR八尾駅」の工事が昨年度より本格的に始まった。これまでにあった八尾駅南口の「レトロな駅舎」はすでに取り壊され、また駅前の花壇も撤去されており、現在は駅前通路協のプランターへと移し替えられた。

駅舎の橋上化と自由通路の設置および駅周辺の環境整備を目的としたこの工事は、平成26年度の完成予定で進められている。そのため、現在の八尾駅南側には、旧駅舎の位置から大きく西に仮駅舎が置かれ、それと同時に駅までの通路（仮歩道）が設け

「八尾駅工事、ただいま進行中

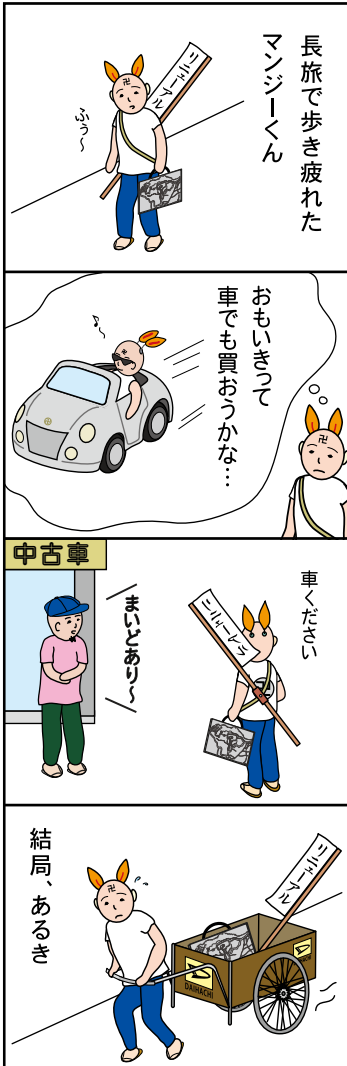
— 生まれ変わる風景 —

られた。これによつて駅利用者や地域住民などの人の流れが大きく変化した。また、駅周囲にそびえる工事前の外壁は、あたり一面を白く殺風景なものにしている。

そこで、以前から活動を続ける地元の「植松のまちづくりを考える会」が、工事期間中、この通路と外壁を利用して「植松の今昔風景写真」などを展示することを計画。約50メートルの区間、植松のまちの風景を楽しむことができ、これまで通ることのなかった人や地元の人たちにも知られざる植松の魅力を発信している。今後についてもアイデアを検討中であるが、新しく生まれ変わる駅舎を前に、定期的に变化するこの駅前の風景からも目が離せない。

マンジークン

安富士 暁



「植松の今昔風景写真」が通る人の目を楽しませている
(3月31日=撮影)



展示されている写真の一部と
現在の駅前の様子



白く殺風景な景色…



旧駅舎のあった場所

落穂拾い

― 今東光の董風 ― (六)

文・伊東健

現在NHKで放送中の大河ドラマ「平清盛」の製作意図は、従来の清盛像を変えるという意気込みだといえます。

それを聞いて、今東光が、清盛についてこんなことを書いていたことを思い出しました。

若し『平家物語』を眼光紙背に徹する眼力で味読したならば、意外な清盛の人間像が現出すると言いたい。(中略)

清盛は巧みに藤原氏の牢平たる勢力を殺いで遂に太政大臣にまで昇進するが、源氏ごときは赤子の手を捻じめるようなものだったろうと思う。この武人の政治家が出たおかげで日本の貴族政権は終りを告げ、謂うところの中世が始まって武家政治が幕を開けるのだ。清盛と織田信長とは共に時代の転換期を画した点で似ているのだ。(昭和四十四年五月十七日

淡交社発行『空也の寺 六波羅蜜寺』より)

四十三年前に書かれたとは思えない、大河ドラマの宣伝文のような文章ですよね。

さらに、東光は続けます。

清盛が福原に遷都したのは陰謀家の多い藤原氏と小うるさい山法師の蠢動を避けるためだと説く歴史家があるが、それは清盛の本質を語るものではない。清盛は外国貿易、特に宋との貿易に着目して兵庫港を修築して本居を福原に移し、大いに為すあらんとしたのだ。従って清盛は日本で最初の海外貿易家であり、摂津国の兵庫という良港に着眼した先覚者なのだ。(前掲書より)

青春時代の一時期を神戸で過ごし、長じて小説家となった東光が、今回の大河ドラマの意図を知れば、慶賀を祝したのではないか。歴史や人物を見る眼力の鋭さは、歴史的に実証されていなくても、物語に潜む挿話を見逃さない小説家ならではの文章として残されました。東光が書く文章の面白さは、清盛のさらに魅力的な一面も紹介しています。

空也の寺
六波羅蜜寺

文／今東光 小林 剛 監修 写真／山本健三



『空也の寺 六波羅蜜寺』

淡交社発行

昭和44年5月17日



旧植田家住宅のご案内

今後の展示・企画

※毎月第1土曜日は「河内木綿体験(5名限定)」
第3日曜日は「むかし遊びの日」を開催

展 示

◎4月1日(日)～7月1日(日)
通常展「大和川付け替え関連展示」

◎7月5日(木)～9月2日(日)
企画展「書画に見る
植田家の幕末・明治維新」

☆7月23日(月)～9月2日(日)
施設周辺写生作品展示(ギャラリー)

展示、イベント等のお知らせは
ホームページもご覧ください
<http://kyu-uedakejutaku.jp/>

企 画

◎5月20日(日) 講座「なにわの高品質野菜誕生の立役者
“大和川の付け替え”」(講師:森下正博氏)

◎6月2日(土) 連続講座1(全3回)
「大和川付け替えと人々の暮らし①」

◎6月10日(日) 講座「八尾と中世文学
—聖徳太子伝の世界から」(講師:大島薫氏)

◎7月7日(土) 連続講座1(全3回)
「大和川付け替えと人々の暮らし②」

◎7月22日(日) 企画展関連講座
「坂本龍馬と幕末・明治維新」(講師:林慎吾氏)

◎7月23日(月) こどもガイド養成講座2

(詳しくはお問い合わせください)

休館日カレンダー

■ = 休館日

2012 / 5 May

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6 June

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7 July

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

●開館時間:午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

●休 館 日:火曜日・祝日の翌日・年末年始
(詳しくは休館日カレンダーをご覧ください)

●入 館 料:一般200円(団体20人以上で100円)
高校・大学生100円(団体50円)
※中学生以下、身体障がい者手帳等の
所持者および介助者は無料。

●お問い合わせ

〒581-0084 八尾市植松町1-1-25

TEL/FAX:072-992-5311

E-mail:info@kyu-uedakejutaku.jp

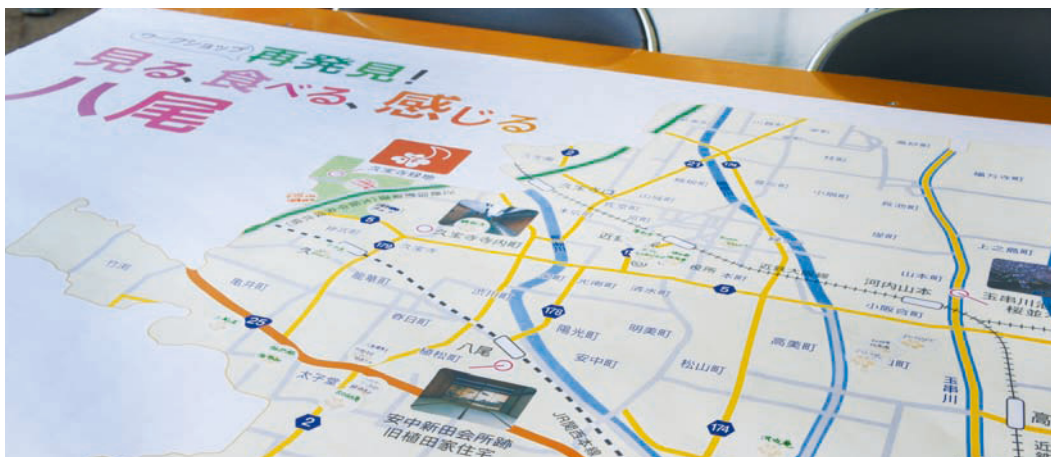
※当施設には駐車場はありません。車での来館はご遠慮ください。



◇JR大和路線「八尾」駅下車。南出口より徒歩約3分

◇近鉄大阪線「八尾」駅から近鉄バス藤井寺駅前行
JR八尾駅前バス停下車。南東へ徒歩約6分

八尾市にお住まいの方々と 八尾のマップを作りました！



ワークショップ

再発見！見る、食べる、感じる八尾

3月24・25日、久宝寺緑地で開催された「Happy Earth Day OSAKA 2012」にて、八尾の魅力を再発見するためのワークショップを行いました。

近隣に住んでいるみなさんと、八尾にある美味しいお店の話題で盛り上がり、山手の方へ行くと、ホテルが見られる場所があるということも初めて知ったり。

八尾にもまだまだ魅力的な場所がありそうですね。



ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！

地図はホームページからご覧いただけます。

seeds-c.jp/communitydesign/pg92



私たち、株式会社シーズクリエイトは、『豊かさを創る印刷所』です。

「豊かさ」の種をまくことで人々の暮らしを支えます

「豊かさとは何か？」を考えるプロセスをたくさんの人達と共有することで継続的で発展的な価値を創ります

社会と共にこれからの環境・暮らしを考えた事業活動を推進します